

2006 年度日本エイズ学会第 1 回理事会 議事録

日 時：2006 年 5 月 19 日（金）午後 2 時～4 時 30 分
場 所：東京大学医科学研究所内新病院棟 8 階 トミー
ホール

出席者：岩本愛吉（理事長）、稲葉憲之、今井光信、岡慎一、
岡本尚、奥田研爾、小柳義夫、白阪琢磨、杉浦互、
高田昇、戸谷良造、中瀬克己、根岸昌功、馬場昌
範、速水正憲、原田信志、堀成美、松下修三、満屋
裕明、三間屋純一、池上千寿子、以上 21 名

委任状提出者：青木真、木村哲（監事）以上 2 名

オブザーバー出席者：原田浩、加賀康司（株式会社メディ
イッシュ）、塚田あずさ（理事長秘書）
以上 3 名

議 題**（報告事項）**

1) 会員現況（報告者：事務局）

会員現況（昨年同期より 22 名増、団体を含む合計会員数：
1721 名）の説明がなされた。

2) 2005 年度決算（案）報告（報告者：事務局）

2005 年度決算（案）報告について、主な項目を中心に説
明がなされた。2005 年度の単年度収支差額は約 50 万円で
ある。

3) 日本エイズ学会誌発行状況（報告者：杉浦理事）

2005 年度の 7 巻 1 号から 4 号を発行したことが報告さ
れた。8 巻 1 号は 3 月に「アジアのエイズ」特集を組み刊行
された。8 巻 2 号は 2006 年 6 月頃に発行予定である。8 巻
3 号も特集を組み、9 月の刊行予定。

4) HIV/AIDS 臨床関連事項検討委員会の案件について

岡委員長より、厚生労働省に申請した製品の国内での使
用許認可の判定が遅滞無く実現されるように、製薬会社等
から日本エイズ学会に対し、その関与を求められた要請の
討議がなされた。感染者、患者の診断、治療の向上発展の
ために、検討委員会で科学的根拠について審議を行ったう
えで理事・評議員から意見を集約し、理事会に諮ることが
報告された。理事会で合意を得た案件については、学会か
らの要望書ではなく意見書とし、理事長名で発信すること
とした。

5) 第 20 回日本エイズ学会学術集会（報告者：池上 2006
年度学術集会会長）

第 20 回日本エイズ学会学術集会の準備状況が報告され
た。会期は 2006 年 11 月 30 日（木）～12 月 2 日（土）、会場
は 3 会場である。演題登録要項スケジュール、演題分類、
記念講演・シンポジウム等についての日程などが報告され
た。速水理事よりウイルス、病態、宿主、免疫、ワクチン

を含め学問的な内容の発表枠が全般的に少ないとの提起が
あり、プログラム委員会で検討することとなった。

6) 第 21 回日本エイズ学会学術集会（報告者：高田 2007
年度学術集会会長）

第 21 回日本エイズ学会学術集会の準備状況が報告され
た。会期は 2007 年 11 月 28 日（水）～30 日（金）、会場は広
島市の広島国際会議場である。学術集会の基本方針につい
て「エイズについての情報・教育」という基本方針で開催
する予定である。

7) 2006 年度 ECC 山口メモリアルエイズ研究奨励賞候補
者の推薦依頼（報告者：事務局）

2006 年度 ECC 山口メモリアルエイズ研究奨励賞候補者
の募集について、日本エイズ学会誌 8 巻 1 号に掲載され、
理事、評議員にも候補者の推薦依頼状をお送りした。

8) その他

① 高田理事から、2005 年 12 月に日本エイズ学会ホーム
ページがリニューアルされたことが報告された。HP
担当の委員として 3 名担当する事が 2005 年度第 2 回
理事会で検討され、高田昇理事（広島大学病院）、味澤
篤氏（都立駒込病院）、栗原健氏（国立病院機構大阪医
療センター）が担当することとなった。

② 編集委員交代について

編集委員の杉浦委員長より第 20 回学術集会の準備
の為、編集委員会に出席することが今後できなくなる
ことが、池上委員から報告され、後任として兵藤智佳
氏が編集委員となることが報告された。活動分野は
ジェンダーで、教育・アジア圏での活動をしている事
が報告された。

③ 日独シンポジウムについて

岡本理事より日独シンポジウムが 2007 年 2 月 15
日～17 日の三日間で開催予定であることが報告され
た。次回の日程については、11 月下旬ドイツで開催予
定である。

（協議事項）

1) 理事選挙について

理事選挙について、2006 年会員名簿製作及び理事選挙日
程（案）に基づき、行われることが承認された。2007 年 3
月には新理事長を決定し、4 月には次期理事会へ順次行移
行する予定である。選挙管理委員会は、被選挙権のない改
選理事の中から、根岸昌功氏を委員長に指名した。

2) 「日本エイズ学会アルトマーク賞」の検討について

日本エイズ学会アルトマーク賞候補者の募集について、
日本エイズ学会誌 8 巻 1 号に掲載されたことが報告され
た。研究分野を均等に分けた選考委員会を結成し、候補者
を理事会に提案することが了承された。

3) AIDS Society in Asia and the Pacific (ASAP) の加入に

ついて

ASAPは昨年体制を一新し、個人会員から団体会員制へとなり、現在、24団体で組織されている。また、日本から参加している団体はないことが報告された。**ASAP**の加入については審議され、現段階では日本エイズ学会として加入しないこととなった。

4) 学術集会の開催地および学術集会会長について

東京、大阪などの大都市と地方都市での開催について討議がなされ、地方都市での開催はエイズ啓発の意義もあり、

2-3の大都市に固定すべきではないとの意見が出された。

過去の学術集会会長は、基礎、臨床、社会のサイクルで会長が選出され、過去の臨床では内科が続けて会長になったことが報告され、他の学会では二分化されてしまった経緯もあり、基礎、臨床、社会の会長選出サイクルは崩すべきでないことが合意された。

第22回日本エイズ学会学術集会会長に小柳義夫理事（京都大学ウイルス研究所）が推薦された。

以上

日本エイズ学会誌編集委員会

- 委員長 杉浦 亙 国立感染症研究所
Wataru SUGIURA
- 副委員長 今井 光信 神奈川県衛生研究所
Mitsunobu IMAI
- 委員 味澤 篤 東京都立駒込病院
Atsushi AJISAWA
- 市川 誠一 名古屋市立大学
Seiichi ICHIKAWA
- 小島 賢一 荻窪病院
Kenichi KOJIMA
- 高橋 秀実 日本医科大学
Hidemi TAKAHASHI
- 兵藤 智佳 早稲田大学
Chika HYODO
- 松田 重三 帝京大学
Juzo MATSUDA
- 丸井 英二 順天堂大学
Eiji MARUI
- 山本 直樹 東京医科歯科大学
Naoki YAMAMOTO

日本エイズ学会誌編集委員会記録

第34回編集委員会

日時：2006年7月28日

場所：学会誌刊行センター会議室

出席者：杉浦委員長，味澤，高橋，兵藤，松田各委員
高田 昇ホームページ担当理事

欠席者：今井副委員長，市川，小島，丸井，山本各委員

編集後記/エイズという致死的な「現代の黒死病」を研究・制圧する上での重要な柱としては、以下に示すような四つの事項が想定される。まず第一に、① エイズという病気を起こす原因因子であるウイルスの解明及びその制御をめざすワクチンや薬剤の開発といった基礎的な研究、また② それらの知見に基づきエイズという病気に陥った患者さんの治療にあたる医療者群による研究、そして③ 地球的な規模におけるエイズの蔓延状況や蔓延しているウイルスの種類や・分布を解明する疫学的な研究、さらには④ エイズ患者やその家族等をめぐる状況やサポート体制を検討する社会科学的な研究が、それである。通常、こうした四つの異なる研究分野の内容が一つの雑誌に掲載されることは非常に稀なことであり、論文掲載を決定する編集委員の頭を悩ませるところである。こうした中、編集委員は一丸となって様々な分野の論文をセレクトし、異文化交流の資料とも言うべき本誌の作成に全力を傾けている。実はこの異文

化交流こそが、エイズという忌み嫌われた「現代の黒死病」の制圧には不可欠ではないかと考えている。エイズ患者の病態や感染拡大の世界的動向、あるいは患者のおかれている社会的な状況を把握した上で、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）というウイルスの特性や遺伝子あるいはHIVに対する免疫応答を研究する方が、ウイルス病というものを真に克服するためには重要ではないだろうか。また、レトロウイルス群の一種であるHIVの持つ科学的な特徴をより深く理解することによって、このウイルスが蔓延する意義や侵された身体的特性を、社会医学的な新たな視点から見直すこともできるのではないだろうか。その意味で、本号では社会的な側面からエイズというものを再考してみようという立場から「エイズと法律」という特集を組み異文化交流をめざすとともに、エイズワクチン開発の意義を考えてみた。本号が各方面からの読者に意義深いものとなることを祈る次第である。（高橋秀実）

複写をされる方に

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

(中法) 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

TEL : 03-3475-5618 FAX : 03-3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、下記へ。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone : 1-978-750-8400, FAX : 1-978-646-8600

Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Phone : 81-3-3475-5618 FAX : 81-3-3475-5619

E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone : 1-978-750-8400, FAX : 1-978-646-8600

日本エイズ学会誌 (季刊)

第8巻第3号

2006年8月20日発行©

定価 3,500円 (税別)

編集・発行者

岩本愛吉

日本エイズ学会

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

1st ジェネシスビル 5階

株式会社メディ・イッシュ内

電話 03-5805-1901, FAX 03-5805-1092

財団法人 学会誌刊行センター

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16

電話 03-3817-5821

製 作

印 刷 所

創文印刷工業株式会社